

No.	回答内容	主管課	現状	対応策等
1	スカイロード商店街を賑わせる計画をつくらないと、駅も賑わわないと思う。	商工観光課・都市計画課	・スカイロード商店街では、カシマ・ルミナススポットや、商店街の音響設備を生かしたイベントなど、活性化に向けた取り組みが進められています。エリアを限定した計画はないものの、鹿島商工会議所が行う中心商店街再活性化事業に対して交付金を交付することで、上記の活性化策を講じています。 ・駅周辺だけでなく、まちなかにも人を誘導できるよう、居心地がよく歩きたくなるような歩道やポケットパーク再整備、サイン計画などを検討しています。そのための社会実験として、9月23日に駅前で開催された公共交通体験フェスタに合わせ、商店街にも人を誘導するための「まち歩きスタンプラリー」を実施しました。普段は人通りの少ない商店街ですが何かの目的があれば歩くということが実証されました。	・鹿島駅整備と合わせて、駅からつながる中心市街地一帯の活性化策は、関係機関とも協議しながら検討を進めていきます。既存の支援策に加え、宿泊施設開設支援等の駅周辺整備と連動した新しい支援策を追加することで、滞在時間の延長等に段階的に取り組んでいきます。 ・9月23日の社会実験で、商店街の企画として通りに音楽を流す試みが行われました。楽しい雰囲気づくりにより、歩きやすい環境づくりにも一役買っていたように思います。夜間のライトアップ（ルミナススポット）も数年前から商店街主体で行われています。このように商店街がもつアイデアや計画が最大限発揮されることが望ましい形だと考えています。行政としては、それらを支援または協業することで、商店街の賑わいづくりに繋げていけたらと考えます。
2	市道の危険なキレツなどありますが、要望しても直りません。	建設住宅課	鹿島市が管理する市道は430路線（約340km）あり、随時道路パトロールや連絡を受けて確認作業を実施していますが、すべてに対応するには時間を要する状況となっています。	要望については、各地区の区長より要望書を提出していただき優先順位を見ながら対応させてもらっています。その他にもスマートフォンからLINEアプリ（手のひら市役所）を通じて危険箇所について通報できるようになっていますので活用下さい。
3	人口減少しているが、高齢者の活用を考えてほしい	保険健康課	市からお願いしている各種委員活動、老人クラブや様々なボランティア団体の活動を通じて、地域の福祉や自然保護などに貢献いただいています。 また、市シルバー人材センターの運営に対して支援を行っています。	高齢者の方がより活躍いただけるよう、社会情勢等の変化を見極めながら各種施策の充実を図っていきます。
4	合併処理浄化槽の点検と清掃について、し尿汲み取りは県では業者は選択自由（広域地域内）とのことであるが、鹿島では地区によって業者が決められている。料金設定、検査の回数等自由決定となっているのに、市が業者を決めておられるのは消費者視点では不都合・サービスの低下だと思う。談合的で業者保護的と思える。	環境下水道課	県担当課に確認したところ、合併処理浄化槽は清掃・保守点検・法定検査が法律で定められており、清掃は年1回市町長の許可を受けた業者が行うこととされています。 鹿島市ではし尿と汚泥の発生量と収集能力から収集計画を立て、区域を定めて収集を行っています。 保守点検は県に登録された業者のうち鹿島市が営業区域となる業者への委託となりますので、登録された業者であれば自由に選択することができます。 現状では清掃・保守点検業務を別々に契約ではなく、一括で契約をされることがほとんどです。	料金については、作業時間・汚泥引き抜き量・車両使用時間等の原価計算に基づいて適正な料金を設定されています。対象戸数や搬入距離等変わってきますので一律料金ではありませんが、市内業者で大きな金額の違いはなく、県内市町の平均と比較すると鹿島市の浄化槽清掃料金は安い方となります。

No.	回答内容	主管課	現状	対応策等
5	市内中心部の店舗の減少（客が少ない）大型店へみんな行く。	商工観光課・都市計画課	・ 中心市街地ではここ数年、JUJIROビルの整備や、飲食店や宿泊施設の新規出店もあり、一部では活性化の兆しが見えてきています。また、空き店舗解消策として改装費・備品購入費補助等の支援策を継続しています。 ・ バイパス沿いの大型店は利便性もよく必要性を否定するものではありませんが、特徴のない画一的な景観が形成され、資本が手を引けば空き店舗として放置されるという例も増えてきているようです。鹿島も同様のこと（大型店利用増）が起きていると認識しています。	・ 店舗等のハード面の支援は現状の補助事業を継続し、ソフト面についても、引き続き、商工会議所・かしまビジネスサポートセンターと連携しながら、事業者の支援、創業支援、空き店舗の活用などの支援を推進していきます。 なお、物価高騰対策であるプレミアム付商品券・応援券事業において、一部は大型店での使用を制限しており小規模事業者支援策を講じているところです。 ・ 昔からある商店街こそが、その町の顔でもあります。その町ならではの商店街を残す・活かすことが、地域の価値を残す・活かすことになり、鹿島市がこれから進めるスローツーリズム推進において重要だと考えています。また、今後は歩いて移動する人の割合も増えていくことも想定され、そういった面でも中心市街地の店舗は重要です。中心市街地の店舗数は減少傾向にあるかもしれませんが、集客力のある魅力的な店舗もあります。少しずつでも店舗が増えていくような施策が重要だと考えています。
6	将来のビジョンが見えない。避難所に高校はどうして利用できないのか？トイレや発電機などそろっている。気象の報道にどうして鹿島がでないのか。	総務課	鹿島高校赤門学舎及び大手門学舎はともに、鹿島市の指定避難所となっており、大手門学舎は福祉避難所としても指定しています。避難所の開設準備、運営は、市職員が実施しています。そのため、避難所を一斉に開設するのではなく、避難状況や災害規模に応じて順次開設するようにしています。手順としては、まずは地区公民館を開設し、小中学校、地区体育館の順に開設しています。令和2年7月の大雨の際には、実際に避難所として開設しました。また、大手門学舎には、災害備蓄品（パーティション等）を備蓄しています。 気象報道は、気象台が設置されている気象観測所（アメダス）によるものです。県内では、8カ所で観測されています。なお、気象台のホームページ「キキクル」では、全市町ごとの気象情報等が確認できます。	大規模災害が発生したときは、鹿島高校を避難所として開設することになるため、県、高校ともに、避難所開設や備蓄品の管理等で連携できるよう日頃から連絡調整に努めて参ります。 気象情報は、命を守るためには大変重要な情報と認識しています。そこで、あらゆる方法（防災行政無線、HP、公式LINE、SNS）を活用して、市民の皆様へ情報発信をしています。
7	質問と答弁を整理して「市長と語る会」便りを発行して欲しい。参加しなかった方が多いので。	政策調整課	「市長と語る会」でいただいたご意見やそれに対する市の対応策につきましては、当日ご参加いただけなかった方にも広く知っていただけるよう、広報誌において実施結果の概要をお知らせするとともに、詳細な内容を市の公式ホームページへ掲載しています。	多くの市民の皆様へ迅速に情報をお届けできる点や、詳細な意見・対応策を一覧で分かりやすく掲載できる点から、現在のところホームページを中心とした情報発信を基本としています。皆様に広く情報を届ける手段として、今後も広報誌とホームページを効果的に連携させ、分かりやすい情報発信に努めてまいります。
8	財政の現状と見通しを説明してほしい	財政課	市報や市HPで、市の財政状況およびその見通しに関する各種情報やその解説を掲載しています。	今後も、わかりやすい内容での情報公開に努めるとともに、ご要望などありましたら出前講座など機会に直接説明させていただきますのでお声掛けください。

No.	回答内容	主管課	現状	対応策等
9	中山間地域の荒廃が著しく、課題も多くなっている。もっと中山間地域にも目を向けてほしい	農林水産課	中山間地域等においては、人口減少や高齢化の加速、担い手不足、農地の荒廃化、鳥獣被害の増加等の問題が課題となっています。	中山間地域の国による支援策は中山間地域等直接支払交付金を柱に、農地多面的機能支払や農業ルネッサンス事業などによる維持管理活動への支援や省力化・高収益化の取組推進などが行われています。 また関係機関と連携しながら市独自の支援（担い手給付金、園芸団地の整備、団地入植者支援金、スマート農業支援、休耕田等利用促進事業）も継続しながら、農家が安心して営農できる環境づくりと競争力強化に引き続き取り組んでまいります。 なお佐賀県の中山間地域での担い手創出マッチング事業で藤津建設業組合にエントリーしていただいております、今後は集落協定と建設業組合が連携した共同活動や農地保全活動の推進も行っています。
10	七浦夏祭りで沖ノ島まいりがあっているが舟が少なくなりました。昔は20出ていたが、今年は7つしか出ていない。市としてPR又は助成等が必要ではないですか？	生涯学習課	全国的に遊漁船の事故が起こり、海上保安庁の規制で10年前から遊漁船船舶の資格がないと船を出航することができなくなりました。（規制が始まる前は、資格の要件がなく、各地区（11地区）から2隻出航していました。） また、資格を取得しても資格の更新や船内備品（ライフジャケット等）の整備に費用が必要となります。 そのため、七浦地区でも有資格者（出航できる者）は、6名しかおられません。 PRとしては、観光協会や商工観光課がSNS等を活用して行っています。	現在のところ、助成金の検討はしておりません。 しかし、船が出航するイベントというのは、全国的にも珍しいことから、市をPRするいい機会と考えます。 そのため、七浦地区のこのイベントに対する現状把握を行い、資格取得更新及び備品整備の費用等の助成を検討したいと思います。 また、PRに関しては、引き続き、観光協会や商工観光課と連携を取りながら、積極的に行っていきます。
11	酒蔵ツーリズムも観光効果もあり大変良いと思う。唯一の観光地としても名所の祐徳稲荷神社をインスタグラムも含め、海外にもより一層広めてアピールの拡大をしていくことが鹿島を観光地として発展させる重要なことであると思う。かし丸くん同様に祐徳稲荷のマスコットキャラクターを狐のマスコットを作り、宣伝広告に役立て効果をあげることが観光地としてのアピールにつながることであると思う。	商工観光課	市内各種イベントや各観光地のPRは、それぞれでPR活動を行っているとともに、市や観光協会のHP・SNS等でも適宜広報を行っています。 市の公式キャラクターとしては、多くの方に認知されている「かし丸くん」があり、祐徳稲荷神社の狐の要素も取り入れています。	イベント・観光地の広報活動は、広報企画課の取り組みとも連携しながら、引き続き推進していきます。 祐徳稲荷神社独自のマスコットキャラクター展開については、神社の意向が優先されるものと考えます。
12	スクールバスの整備を	教育総務課	スクールバスの整備はしていません。	小中学校適正規模検討委員会などで検討していきたいと思っています。
13	高齢者に対しての支援も考えてほしいです	保険健康課	高齢者の皆さんが「いつまでも住み慣れた地域で安心して過ごしていけるよう」介護・福祉・保健・医療等の機関と連携し、総合的に支援するための相談窓口として「地域包括支援センター」を設置しています。 また、軽度生活援助事業、生きがいデイサービス事業、緊急通報体制整備事業などの高齢者福祉事業を実施しています。	地域の特性やニーズを踏まえながら、現状実施している施策の見直しや新規施策の導入を検討し、より有効な支援を展開していきたいと思っています。

R8_市長と語る会／アンケート集約

No.	回答内容	主管課	現状	対応策等
14	公共施設の集約化が今後進んでいくと思いますが、中山間地に残る人の暮らしをぜひ考えてほしい。	公マネ室	本市は132の公共施設を保有し、その多くが今後更新時期を迎えます。これからの人口減少社会に対応しながら、将来にわたり安全・安心な行政サービスを提供できる健全な財政基盤を保持していくため、最適な規模の施設を最適に配置する「公共施設のあり方」について検討を進めています。	公共施設のマネジメントは、将来にわたり健全な財政基盤を確立し「誰一人として取り残さない」持続可能なまちづくりの実現を目指すものです。地域の拠点でもある公共施設の再編や集約化等に当たっては、住民の皆さまの暮らしや行政サービスへの影響を第一に考え、関係する皆さまとの丁寧な議論を重ねながら取組を進めてまいります。
15	市域外、県外、海外から人を呼び込む施策を検討したいかがか？	商工観光課 (観光客) 広報企画課 (移住)	・鹿島市独自の取り組みはもちろんのこと、県や近隣市町とも連携しながら、エリア全体としても誘客の活動を行っています。 ・移住相談窓口を設置し、支援金や就農、空き家バンクなど多岐にわたる相談に対応できる体制を整えています。	・特に海外については時機に応じたターゲットを定めながら、引き続き誘客の活動を行っていきます。 ・相談体制を継続しつつ、鹿島市を知ってもらうための情報発信を強化していきます。
16	ふるさと納税の申込数とふるさと納税に関心があった人へ説明された数が分かれば教えてほしい。	広報企画課	ふるさと納税申込数は令和7年度決算で企業版ふるさと納税を含め59,584件となっています。 ふるさと納税に関する問い合わせの数は把握していませんが、職員が丁寧に対応しています。	ふるさと納税の控除等、税制に関する問い合わせについては、現在、税務課を案内しており、今後も対応は変わりません。
17	歴史ある鹿島市の観光アピールを。シンボルとなっていた浜の赤鳥居、大手門の石造りの大鳥居がとりこわれて久しくなり、寂しい鹿島市だな～と思います。大手門のみすばらしい姿、門の内は住宅地となり家の玄関のように変わっています。朱塗りの門の内側には緑地を確保して門が生えるようにしてほしい。	生涯学習課	大手門に関しては、復原工事を令和8年度中に着工するため準備を進めているところです。大手門内側への緑地化は、現在のところ、計画はありません。	大手門は、有識者等のアドバイスを受け、歴史価値が一番高い状態へ復原する工事を令和9年度中までに竣工する予定です。 その際、大手門のみ復原し映えるのではなく、大手門を含めた全体景観が映えるように、内側の緑地化を含め、土堀の修復を検討します。
18	表彰制度はありますか。個人であり部落であり、またグループである中で小さくも活動をしている人たちにスポットが当たっていないように感じます。市民から活力を生むためにも、その方々へのスポットを当てていただきたいと思います。	政策調整課	表彰制度につきまして、市政の発展に寄与した者、市民の福祉の増進に功労のあった者その他市民の模範となる者の功績をたたえるため、「鹿島市表彰規則」の定めに準じて毎年表彰式を行っています。	個人や団体の皆さまによる日々の活動は、本市のまちづくりを支える大切な基盤です。 その取り組みが幅広く知られ、地域の活性化を後押しするものとなるよう、支援策の充実に努めてまいります。
19	国道498号の説明がなかったが、進捗状況を市報等でお知らせ願いたい。	建設住宅課	「国道498号鹿島武雄間」は、令和6年度にルート検討範囲が公表されたが県の検討の中で課題（冠水地域を通過等）があるため検討中です。	早期整備に向け、引き続き、県等に要望活動等を実施する。市民の皆様には、ルート検討の進捗を踏まえて周知していきます。